

団地化による集団間伐のすすめ

現在、当組合では各地区において懇談会を開催し多くの山林所有者の皆様から同意をいただき、森林を団地化によるコスト削減で、所有者の負担をほんなくすことにより間伐事業を推進しております。高齢になり自分で手入れが思うように出来ない。最近は、山にも行つてないのでどうなつているかわからない。

先代から引き継いだが良くわからぬ。……

多くの皆さんからこんな意見が聞かれます。そしてそんな中で団地を設定し話を進めていくと、地区にいる何人かの山に詳しい方が先頭になつて境界を見ながら山を周り、自分の山を覚えたり、次の世代の人たちに引き継いだり、ま

た、間伐をした後に自分でも手が入れやすくなったりと、一人では解決しなかつた問題が解決していつている地域があります。

森林組合では、県・市町村と一緒に一年毎の計画を立てながら予算を取り、毎年ほど五〇〇haの間伐を実施しています。搬出の可能な山は高性能林業機械により搬出し材の販売を行い、できるだけ所持者への還元も行っています。団地化に当つては懇談会によって近くの所有者へ働きかけて行きますのでこの機会にぜひ間伐をしてほしい、自分にいるうちに境界をわかるようにしておきたい、そんな気持のある方はぜひ、森林組合まで気軽にご相談ください。



王滝村 間伐団地

間伐材利用住宅の視察 役員研修会

去る五月九日役員による視察研修会が開催されました。

ヒノキ間伐材を利用した住宅をつがけている、「堀尾憲一氏」を訪ねました。

特色は、間伐材（仕上り径一〇cm角×三m）を張り合わせた縦ログハウス住宅です。

間伐木は坪当たり約四十本を使用しており、強度・耐火度・耐震性等を兼ね備えた美観あふれる住宅です。

設計者の堀尾氏は、カラマツ間伐材を使用した住宅も計画しているとのことであり、今後に向けて注目される工法です。

